

□GlobalFlow5 の制限事項

- =====
- ・1つのDBに2つ以上のWebサーバーを接続する場合、「サーバー保存アクティビティ」に
設定する「保存先」は共有するファイルシステムを指定してください。なお、2つのWebサーバーのOSが異なる場合、保存先は共有できません。
 - ・書類に添付するファイルのファイル名が、ファイルパスを含めて260Byteを超える場合、添付ファイルのファイル名が途中で切れることがあります。
 - ・カテゴリ名に連続した半角英数字が存在し、メニュー表示幅より長い名称となった場合、以下の現象が起きる可能性があります。
現象を回避するには、カテゴリ名を表示可能文字数内で設定してください。
メニュー表示幅の表示可能文字数は、27Byte～32Byteです。
 - * カテゴリ名の表示開始位置がずれることがあります。
 - * 連続した半角英数字以降の名称が非表示になることがあります。
 - * メニュー一覧表示フィールドの表示割合が変更されて書類・テンプレート・プロセスを選択することができなくなる可能性があります。
 - ・カテゴリ名に連続した半角英数字が存在すると、テンプレート管理画面から開かれるプロセス一覧やテンプレート一覧の画面が崩れる場合があります。画面の表示幅を調節して回避してください。
 - ・最新版のActiveXのダウンロードを行う場合、表示されているタブをActiveXのダウンロード中にクリックすると、ActiveXが表示されない場合があります。ダウンロードが完了するまでは、タブの切り替えを行わないでください。ActiveXが表示されない場合は、ブラウザを更新して、再度ActiveXのダウンロードを行ってください。
 - ・StraForm-Xを使用した帳票でキーワード連携を行う場合、機種依存文字、一部の記号を使用するとキーワード連携が正常動作しない場合があります。
 - ・1.00R04以前に、Doc保存されたワークフローの書類から、アーカイブ形式でデータを出力した場合、経路上に現在処理中のアイコン、処理開始日は表示されません。
 - ・セキュリティマスター管理機能を利用しないモードに設定した場合、セキュリティマスターを利用する設定に変更できません。
 - ・書類画面でブラウザのメニューにある印刷を使用すると、書類全体が表示されない場合があります。書類全体が表示されない場合は、「印刷(帳票専用)」のリンクから表示させた画面で印刷する必要があります。
 - ・GlobalFamilyのワークフローから移行された帳票をアーカイブ形式で出力すると、表示レイアウトがずれる場合があります。
 - ・StraForm-Xを使用した帳票では、<INPUT>タグの属性に"GFLOW-USERINFO"、"GFLOW-DATE"を複数設定し、同一の承認アクティビティを指定することはできません。
 - ・StraForm-Xを使用した帳票では、<INPUT>タグの属性に"GFLOW-USERINFO"、"GFLOW-DATE"を設定した場合、属性の値は指定された承認アクティビティを通過した

あとに設定されます。

- ・再起案時に、参照元と参照先が異なる帳票の場合、StraForm-X を使用した帳票では、テキストエリアの値を引き継ぐことはできません。
- ・StraForm-X を使用した帳票では隠し項目を、“GFLOW-COPY-NAME”で引き継ぐことができません。
- ・再起案時に、StraForm-X の帳票と通常の HTML 帳票を混在して、参照元と参照先の帳票に指定することはできません。
- ・一括否認時には、「否認時の注釈入力」のチェックを行う事ができません。
- ・書類の注釈入力で固定書式を末尾に挿入した場合、1 行目が改行だけの場合、1 行目の改行がなくなります。
- ・Flash Player14 以降では、フォルダー一覧が正しく表示されない場合があります。その場合は、Web ブラウザーを再起動してください。

Internet Explorer 8 で使用するうえでの注意事項

- ・ActiveX を未使用の場合、Internet Explorer のセキュリティパッチを適用すると拡張子 EML、MHT の添付ファイルは内容表示できないことがあります。
- ・ご使用のブラウザにアドインソフトが導入されている場合、ActiveX が正しく動作しない場合があります。
- ・Shift-JIS の帳票の場合、帳票の項目が正常に表示されない場合があります。
- ・ローカル環境にダウンロードした添付ファイルの拡張子が「.mht」「.mhtml」の場合、ファイル名に「%」を含むと、「無効な構文エラー」が発生し、表示できない場合があります。参照できるファイル名、エラーとなるファイル名の例を示します。
参照できるファイル名：%E3%82%B3.mht
エラーとなるファイル名：%E3.mht
- ・Internet Explorer 8 をご使用の場合、[ツール]メニュー - [インターネットオプション] - [セキュリティ]タブの[信頼済みサイト]を選択し、[サイト]ボタンをクリックし、以下を設定してください。
 1. 本システムの Web サイトをゾーンに追加。
 2. 「保護モードを有効にする」をチェックしない。(デフォルトはチェックなし)

Internet Explorer 9, 10 で使用するうえでの注意事項

- ・[ツール]メニュー - [互換表示]を選択ください。

Internet Explorer 11 で使用するうえでの注意事項

- ・[歯車]アイコン - [互換表示設定]を選択、[追加]ボタンをクリックして、本システムを互換表示に追加してください。

□Microsoft Windows7 で使用するうえでの注意事項
=====

- 日本語 32bit 版以外では動作保証していません。

□Microsoft Windows8.1 で使用するうえでの注意事項
=====

- 「グループ一覧」「グループメンバー一覧」「役割一覧」の画面で、ツリーの項目選択後の右クリックメニューが表示されない場合があります。
 - ActiveX を用いたドラッグ&ドロップが正常に動作しない場合があります。
- =====